

令和 8 年 9 月 25 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

議会運営委員会委員長 小田 新紀

議員派遣結果報告書

令和 8 年 7 月 8 日に決定された議員派遣について、次のとおり報告する。
記

1 派 遣 名

議会運営委員会議員研修会（議員会合同）

(1) 目 的

議会活動に必要な知識の習得及び情報収集を行い、議会機能向上に資するため。

(2) 派遣場所

幕別町役場 3 階委員会室

(3) 派遣期間

令和 8 年 7 月 29 日（1 日間）

(4) 派遣議員

- ・ 委 員 長 小田新紀
- ・ 委 員 塚本逸彦、内山美穂子、酒井はやみ、荒 貴賀、
岡本眞利子、田口廣之
- ・ 議 員 山端隆治、長谷陽子、石川康弘、小島智恵、
- ・ 議 長 寺林俊幸 副 議 長 中橋友子

（以上13名）

（畠山美和議員、野原恵子議員、藤谷謹至議員、谷口和弥議員、
藤原 孟議員 5 名欠席）

(5) 派遣内容

- ・ 内 容 ファシリテーション研修
- ・ 講 師 NPO 法人きたのわ 代表理事 宮本 奏 氏
NPO 法人まちづくりプラットホームめむろ 理事
NPO 法人きたのわ 会員 西村 有里 氏

・所 感 研修では、ファシリテーションの技法に基づき、話し合いや対話の進め方について実践的に学ぶ充実した内容が展開されました。一対一や少人数での話し合いから始まり、話し合いの進行過程で重要とされる「共有」「発散」「混沌」「収束」「決定」の五段階に沿った手法を体験しました。また、特に準備の重要性が指摘され、6人規模の話し合いではテーマ設定やゴールの共有について、事前準備がプロセス成功の鍵であることを実感しました。

研修においては、グラウンドルールとして「今日大事にしたいこと」を設定することが提示され、自分自身の考えに意味を持たせると同時に、相手の話に真摯に向き合い、その言葉の背景や思いを受け止めることが求められました。

このような対話の姿勢は、話し手として自分の一番話したいことを素直に語り、沈黙を必要な準備の時間として尊重することにつながり、聞き手としては相手から新しいことを学び取る意識を維持し、聞いた話を丁寧に返す姿勢で臨むことが重要であるとの学びがありました。研修内で実施されたグループワークにおいても、普段の会議や話し合いとの違いや工夫、そして対話を振り返る重要性について深く考える機会が与えられ、より建設的な話し合いや合意形成を目指すうえで有益な実践を経験することができました。本研修で学んだファシリテーションの技術は、議会審議や町民との対話を円滑に進める手法として活用できると確信しております。学んだ内容を踏まえ、話し合いの準備段階をしっかりと行うことを第一に、合意形成に向けた質の高い議論を進めてまいりたいと考えております。今回の研修内容を今後の議会活動に活かし、円滑な意思疎通を通じて地域課題の解決に向けて努めていきたい。



(石川議員会会長 挨拶)



(講師：宮本 奏 氏)



(講師：西村 有里 氏)



(研修風景)



(研修風景)



(寺林議長 挨拶)